



日本社会福祉学会第73回秋季大会開催のご案内

実行委員長 空閑 浩人(同志社大学)



学会員にとって、全国大会に参加する楽しみの一つに、大会校の学生食堂(学食:がくしょく)での食事があると思います。私も学会員になって以来、全国各地の大学の「学食」を楽しんで来ました。日本社会福祉学会第73回秋季大会ですが、**10月4日(土)・5日(日)**に**京都・同志社大学**で開催されます。両日ともに、会場となる建物内の「学食」がオープンする予定です。ぜひ皆様の大会参加の楽しみの一つとして、ご予約に入れて頂きますようお願いいたします。

また、同志社大学がある京都ですが、10月は観光シーズンであることに加えて、さらに、大阪万博が10月13日(月・祝)までの開催ということもあり、国内外からの大勢の観光客で賑わうことが予想されます。遠方からの大会参加をご予定されている皆様におかれましては、1日でも早く宿泊先ホテルの確保をお願いしたいと思います。

さて、今回の大会テーマは、「現代社会福祉学の思想的基盤—理論と実践の根源を問う—」です。世界を見れば依然として戦争のニュースが続き、国内でも貧困や孤立、排除や分断をめぐる問題は深刻化しています。今こそ私たち学会員の英知を結集する時です。社会福祉学研究や実践が様々な分野や領域での広がりを見せる中で、今一度学問としての社会福祉学の思想的基盤に立ち返り、その理論と実践の根源を問い直し、この時代の中での社会福祉学や学会のあり方を展望する機会にできればと思っています。このようなテーマのもとで、基調講演やシンポジウムを大会校企画として行います。

加えて、「初期キャリア研究者研究交流会」「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」「学会企画セッション(社会福祉学におけるアクションリサーチの手法)」「特定課題セッション」ほか、自由研究発表やポスター発表など、盛りだくさんのプログラムです。また、クローク、書籍販売、情報保障、託児など、大会ご参加の皆様のお役に立てるよう準備をしているところです。

今年2025年は、同志社大学の前身である同志社英学校が新島襄によって創立されて150周年になります。また2005年の文学部改組による社会学部の開設により、従来の文学部社会学科社会福祉学専攻から社会学部社会福祉学科となって20年になります。そのような年にこの学会の全国大会を開催させて頂けることを、とても嬉しく思っています。皆様にとって、学び多い、また思い出にのこる大会となりますように、教員、大学院生、学部学生からなるスタッフ一同、心を込めて準備を進めて参ります。

皆様方のご参加を心よりお待ち申し上げます。

第73回秋季大会「参加申込要領」

<https://www.jssw.jp/conf/73/entry.html>